

令和7年度 小金井第三小学校 第5回学校運営協議会 記録

<日時>令和8年1月24日(土) 午前11時25分から午後0時35分まで

<会場>家庭科室

出席者: 12名中11名参加

1 開会の言葉および校長挨拶

○本日も学校公開日を兼ねた学校運営協議会に参加いただきありがとうございます。学校公開を見ていただいた中でのご意見は後ほどいただきたい。3学期が始まって2週間が過ぎたが、インフルエンザ等の流行も見られず子供たちは元気に登校している。子供たちには始業式で3学期は短い、次に進級するためのイメージをもって過ごしてもらいたいと話している。今回が今年度最後の学校運営協議会になるのでよろしくお願ひしたい。

2 学校公開について

- 4年生の先生が子供たちが能動的に取り組むところを公開しようと教科として算数を選んだのがよい。〇〇教育の要望が行政から多く、先生たちがそれに応えるために疲れていないか。先生たちがゆとりをもって子供に接し、豊かな表情をもって子供たちを認めるようになるとよい。
- 学年で内容を揃えていても先生によってやり方が異なる。実施後に学年で話し合い、効果的な手立てを共有するとよい。英語は会話が中心で進められていてよかった。
- キャリア教育は去年も見たが、今年も素晴らしい。身近で失敗も経験の一つだと教えてくれるような教育環境のある三小は素晴らしい。
- クラスによって学級目標の扱いが異なるのが気になった。学級目標を具体的な行動指針に生かしているクラスもあるので、それを広げるとよい。目標を見える化していくことによる効果がある。
- 理科の授業で互いの意見を交流させることをやっていたが、正解をすぐに伝えないのがよい。教師がしゃべりすぎず、子供に取り組ませることがうまくいつている。
- 認知症サポーター養成講座を見たが、5年生のタイミングでいいのか。核家族が増えているからやる意味も分からなくはないが、形だけにならず、身になるように伝える必要があるのではないか。
- 6年のゲストティーチャー授業がよかった。回を経ると講師も伝え方がよくなっている。子供と話すのは楽しいので、講師も楽しみにしている。3学期になってさらに担任と児童の信頼関係が深まっていたのが良かった。若手もベテランも先生一人一人のよさがあるのでそれを認め、伝えてもらいたい。
- 1年生で大変だった子が3年生になって落ち着いて過ごしているのが見られ、それを育てた先生方が素晴らしい。

3 令和7年度学校評価自己評価まとめについて

資料をもとに学校評価まとめの報告、最終報告に向けた学校関係者評価の依頼

4 令和8年度に向けて

次年度の学級数、不登校支援体制の充実、年間行事予定のポイント等についての連絡

5 その他

地域協働本部の活性化、学校運営協議会の「育てたい子供像」について、避難所運営協議会の連絡

6 閉会の言葉(副校長)